

平成23年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年10月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,074億円余
2. 前年同月比	-3.6% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-2.4%(89.1%) : 非店頭-12.1%(10.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成23年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	904,275㎡ (前年同月比:-4.2%)
6. 総従業員数	18,886人 (前年同月比:-9.5%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 -9.2%、3-5月 -10.7%、4-6月 -3.1%、 5-7月 -1.7%、6-8月 -1.2%、7-9月 -2.5%

[参考] 平成22年9月の売上高増減率は-3.8%

【9月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店動向は、台風など天候不順の影響を大きく受けた結果、都内各店共に前年同月比で概ね3%~4%の減少であった。
- (2) 衣料品不振の中でも特に紳士服(-4.5%)が苦戦したが、この背景には、残暑に加えて、企業によるクールビズ対応期間の延長も影響している。
- (3) 東京地区では、百万円を超える高級時計が売上を牽引するなど、全国水準以上に富裕層消費が活況(美宝・貴:+4.5%)であった。現時点で店頭における株安の影響は見られない。
- (4) 下旬からは、急速な冷え込みで秋物消費が活性化した。また、土鍋、羽毛布団、ウールコートなどの冬物商材にも、一部動きが見られた。
- (5) 9月末からの持ち直し傾向は10月に入っても継続しており、中間段階での都内売上動向は、各店共に前年水準を若干上回る水準で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比+0.3日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 4店、②変化なし: 4店、③減少した: 10店、④不明: 2店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上 (同上)
①増加した: 3店、②変化なし: 7店、③減少した: 2店、④不明: 8店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 2店、②変化なし: 11店、③減少する: 6店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年09月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	107,476,532	100.0	-3.6 (-4.7)
紳士服・洋品	7,426,863	6.9	-4.5 (-5.5)
婦人服・洋品	23,382,417	21.8	-2.7 (-5.7)
子供服・洋品	1,936,417	1.8	-2.4 (-2.4)
その他衣料品	1,932,012	1.8	-13.6 (-13.6)
衣 料 品	34,677,709	32.3	-3.7 (-6.0)
身のまわり品	14,978,253	13.9	-4.5 (-6.9)
化粧品	6,293,219	5.9	-0.6 (-4.4)
美術・宝飾・貴金属	6,492,970	6.0	4.5 (4.5)
その他雑貨	5,844,669	5.4	-2.2 (-2.4)
雑 貨	18,630,858	17.3	0.6 (-0.8)
家 具	1,778,994	1.7	-9.6 (-9.8)
家 電	608,020	0.6	14.1
その他家庭用品	4,089,406	3.8	-1.2 (-1.1)
家 庭 用 品	6,476,420	6.0	-2.4 (-2.5)
生 鮮 食 品	4,277,498	4.0	0.4 (3.2)
菓 子	6,519,601	6.1	-3.2 (-2.2)
惣 菜	5,782,686	5.4	1.2 (2.6)
その他食料品	8,077,377	7.5	-9.4 (-8.6)
食 料 品	24,657,162	22.9	-3.8 (-2.5)
食 堂 喫 茶	3,112,805	2.9	-3.9 (-4.7)
サ ー ビ ス	1,997,108	1.9	-6.1 (-10.1)
そ の 他	2,946,217	2.7	-17.9 (-17.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商品券	3,123,754 千円	-47.2 (-47.4)
従業員数	18,886 人	-9.5
店舗面積	904,275 m ²	-4.2

営業日数	30.0 日	前年	29.7 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が0.6%、3か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属が4.5%と4か月連続、家電が14.1%と3か月連続、生鮮食品が0.4%、惣菜が1.2%と2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.6	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.5	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.7	-0.6	7か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.4	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-13.6	-0.3	41か月連続マイナス
衣料品	-3.7	-1.2	3か月連続マイナス
身のまわり品	-4.5	-0.6	2か月連続マイナス
化粧品	-0.6	0.0	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	4.5	0.3	4か月連続プラス*
その他雑貨	-2.2	-0.1	2か月ぶりマイナス*
雑貨	0.6	0.1	3か月連続プラス
家具	-9.6	-0.2	6か月連続マイナス
家電	14.1	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	-1.2	0.0	4か月ぶりマイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	4か月ぶりマイナス
生鮮食品	0.4	0.0	2か月連続プラス*
菓子	-3.2	-0.2	3か月連続マイナス*
惣菜	1.2	0.1	2か月連続プラス*
その他食料品	-9.4	-0.7	8か月連続マイナス*
食料品	-3.8	-0.9	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-3.9	-0.1	4か月ぶりマイナス
サービス	-6.1	-0.1	4か月連続マイナス
その他	-17.9	-0.6	3か月連続マイナス
商品券	-47.2	-2.5	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>